

あなたとつなぐ



議会

しんじ

No. 77 新 城 市 議 会
令和 5 年 11 月 発 行

9月定例会

■特集 議会報告会・意見交換会	1
■一般質問	2~10
■主な議案の内容	10
■主な議案の討論	11
■議案賛否	11
■議決結果一覧	12
■特集 土木研修・市民まちづくり集会	13
■委員会インフォメーション	14
■お知らせ	15

《特集 議会報告会・意見交換会》

9月27日から10月3日まで市内10地区で議会報告会・意見交換会を開催しました。ご参加ありがとうございました。市議会では、市民と議員が自由に情報及び意見を交換する議会報告会を年1回以上行います。市民の皆様から頂いた貴重なご意見、ご提案を真摯に受け止め、本市の発展のため市政に生かしてまいります。各地区で頂いた市民の皆様の声を一部紹介いたします。

9月27日(水)

■千郷地区

- ① 東郷中学校借地部分を購入するなら元の農地で評価すべき。雑種地での評価はおかしい。
- ② ホームページに議員の人名と分る情報を追加してほしい。議員に相談しやすくなる。
- ③ 議会として市長との政策論争にしっかりと取り組んでほしい。

■鳳来中部地区

- ① 学校給食についての視察で得てきたものは何か。本市の学校給食に生かせるか。
- ② 高速バスを使って助かっている。名古屋の人はあまり知らないのでもっと宣伝してほしい。
- ③ どうする家康を生かした地域活性化、観光行政への総括を。

9月28日(木)

■八名地区

- ① 一般質問をしない、時間が短い。議員はしっかりと勉強し活動してほしい。市民も情報源になる。
- ② 八名は太陽光パネルだらけ、そのようなまちにして良いのか。
- ③ 市で学校給食食材の一括購入を予定しているようだが、安全がどのように確保できるのか。

■鳳来西北部地区

- ① 海老四谷連合地区デマンドバス化は助かるが、田口新城線の最終便が早まりJRから乗り継げず困る。
- ② 地域医療確保のための市民病院は、住民支援を募っても守るべき。
- ③ 農業者の立場から、学校給食への無農薬米へのこだわり違和感。本地域は既に安全基準内で生産している。

9月29日(金)

■舟着地区

- ① 現クリーンセンターの稼働は地区との約束で期限があるが、広域化移転は調査だけで何年もかかる。現在の地区にお願いや説明をなせないのか。
- ② 緊急時に自家用車で市民病院に行ったら他の病院にまわされた。これでは緊急時に頼りにならない。

行ったら他の病院にまわされた。これでは緊急時に頼りにならない。

■鳳来南部地区

- ① 林道を作るはいいが、その後の管理を市はしないのか。
- ② 旧新城東高校跡地の利用についてどのように進むのか。
- ③ 赤字の高速バスをいつまで議会は続けさせるのか。止めるべき。

10月2日(月)

■東郷地区

- ① 市の景観条例は作らないのか。
- ② 水道料金値上げの通知が市から来た。広報ほかに載せればお金もかからない。再考すべき。
- ③ 災害時の避難所が東郷中学校だが、裏山が危険地域。本当に安全か。

■作手地区

- ① 議会で作手診療所の現状に困ったと言う声は聞いていないとの答弁があったが、皆困っている。
- ② 風力発電について反対運動がおそらく大きくなる。地元議員も積極的に取り組んでほしい。
- ③ 地区で多数の太陽光発電施設の計画を聞いた。事業者や地主が遠方、不明の場合など心配だ。

10月3日(火)

■新城地区

- ① 都市計画区域の区分を変える必要がある。議会は検討したか。
- ② こども園での人形劇などを地域活動交付金で行うため、動く保護者の労力を考えると、最初から園に予算がついても良いのでは。
- ③ 市役所へ行かずとも自宅で情報が取れるようにしてほしい。

■鳳来東部地区

- ① 鳳来総合支所の工事不良への対応について、その後の進捗は。
- ② 山びこの丘のクライミング施設をどうするか。面倒を見てほしい。
- ③ 豊川市は人口が増え発展し、新城市はなぜそうならないのか。新城市は考え方が古いのではないか。



一般質問

9月定例会では、17人が一般質問に登壇し、市の見解を質問しました。
一般質問とは、議員個人の立場で質問するものです。



小野田直美
議員

動画でチェック▶



Q. 児童クラブについて、通年と夏休み利用者の今後の見込みは。

A. 今後も現在の同程度の利用者数で推移すると見込んでいる。

児童クラブについて伺う。

① 通年と夏休み利用者の今後の見込みは。

② 支援員確保の手段は。

③ 発達に支援が必要な児童への対応は。

④ 危機管理について。

ア 防災

イ 防犯

健康福祉部長

① 保護者の就労状況等、家庭環境を考慮すると児童クラブの利用ニーズは高まることが見込まれる。児童数は減少傾向であるが、今後も同程度の利用者数で推移

すると見込んでいる。

② 広報ほかをはじめ、ホームページや公式ラインで募集を行っている。また、イベント時にチラシを配布するなど、さまざまな機会を捉え、支援員の確保に努めている。

③ 申込時に保護者から、特に配慮を必要とする児童の状況や特徴を聞き取り、保護者と一緒に対応を考えている。一方、現場の支援員からも気になる児童がいれば、こども未来課へ情報を共有してもらい、学校での状況を確認しながら、保護者を交えて今後の対応や加配職員の必要性等を検討していくことになる。

④ ア 防災訓練は、コロナ前の令和元年度までは実施していたが、昨年度はAED使用の訓練と避難経路の確認までとなっている。今年度は、児童クラブごとの防災訓練実施に向け、調整を行っているところ。

イ 防犯訓練等は行っていないが、必要性は認識している。

そのほかの質問項目

指定避難所について



鈴木長良
議員

動画でチェック▶



Q. 出会い(結婚)支援は。

A. 民間事業者等と連携を図りながら結婚支援に努めていく。

こどもまんなか社会の認識と取り組みについて伺う。

① 出会い(結婚)支援は。

② 妊娠・不妊は。

③ 産前産後の支援は。

健康福祉部長

① 愛知東農業協同組合が行っている結婚相談所に対し、負担金を拠出しており、結婚相談業務やイベントの企画・運営をしてもらっている。その他には、本市の移住定住公式インスタグラムを活用し、近隣で行われる市民が参加可能な婚活イベントを積極的にPRしている。今後も、

民間事業者等と連携を図りながら結婚支援に努めていく。

② 命の大切さや妊娠に関する正しい知識を普及するため、市内の小中学校や高校で助産師による健康教育を実施している。今年度は若者議会からの提案事業で、プレコンセプションケアの講演会を開催した。また、不妊治療に係る費用の経済的負担の軽減を図ることを目的に一般不妊治療費の助成を実施している。

③ 安心・安全に妊娠、出産、子育てができるよう伴走型相談支援と経済的支援を合わせて身近で相談できる体制を整えている。具体的には、妊娠届出時、妊娠後期の保健師による面談や、妊娠婦・乳児健診費用の助成、妊娠届出時と出産後の助成金交付などを行っている。

※プレコンセプションケア

妊娠前の女性やカップルを対象として将来の妊娠のための健康管理を促す取り組み

そのほかの質問項目

空き家対策の推進について



小林秀徳
議員

動画でチェック▶



Q. 被災者支援における避難対策についての対応は。

A. 指定避難所に対し、避難所担当職員を配置している。

災害等からの防災・復旧・復興支援等について伺う。

- 被災者支援における避難対策についての対応、支援体制は。
- 6月2日、3日の台風2号の影響による被害状況及び被害額、現時点における復旧状況及び見通しは。

総務部長

- 37カ所の指定避難所に対し、本年度84名の避難所担当職員を配置し、備え付け備品の点検、計画的な更新等により避難者に対する支援体制を整えている。
- 8月末現在、道路、河川などの

そのほかの質問項目

- ふるさと納税について
- 鳳来ゆくゆくありいなについて

被害件数は451件で、被害額は、約11億8千万円となる。復旧状況は、150件は作業班や小災害復旧での工事により対応した。農地・農業用施設の被害報告件数は、122件で、被害額は、復旧工事費で約2億2千万円を要する見込み。復旧状況は、用排水路の応急復旧工事10件を実施した。山林は、被害報告件数は83件で、県が現地確認等を実施したところ、山林の崩落等の被害件数は44件、被害額は約9億4250万円と聞いている。山林の崩落等に関する治山事業は、県が実施する事業であり、市では各行政区から提出のあった要望書を取りまとめて県に提出した。林道の崩落や倒木等に関する被害報告件数は62件、被害額は、約2億7690万円である。復旧状況は、6月追加補正で承認された10路線のうち、8路線が完了している。



佐宗龍俊
議員

動画でチェック▶



Q. 森林経営管理制度に基づく本市の取り組みの全体計画は。

A. 全体把握するのは困難であり、できるところから進める。

森林経営管理制度に基づく本市の管理状況と取り組みについて伺う。

- 現在の森林面積は。
- 森林経営管理制度が対象とする森林面積は。
- 現在までの取り組みと今後の計画は。
- 対象となる森林の全てが管理された状態になるまでの全体計画は。

産業振興部長

- 2021年度愛知県林業統計書によると、令和3年度末現在で4万1412haになる。

2 1万6014haが今後の対象になり得る。

3 令和3年度から令和4年度にかけて、森林GIS(地理情報システム)を用いて林業適地を検出し、施業履歴の確認、林業経営体からの意見聴取をした後、事業候補地を選定し、市内の4つの地区で意向調査を進めた。現在その意向調査の結果を整理し、市に経営管理権を委託したいと意思表示をされた森林について、今年度より適切な経営管理の可否の現地調査を実施する準備を進めている。来年度以降も同様の手順で、森林整備につなげていきたい。

4 本来、市域全体の状況を把握した上で計画を立てるべきではあるが、私有の林地全体を把握するのは困難であり、GIS等で適地を探しつつ、ある程度まとまった地域ごとに行けるところから進めていきたい。

※森林経営管理制度

経営管理が行われていない森林に市が仲介役となり、森林所有者と担い手を繋ぐ仕組み



山口洋一
議員

動画でチェック▶



Q. 作手診療所の運営を立て直すための必要な準備は。

A. 診療所の職員体制を整えることである。

ある。事務長の交代は、医師を
始めとする診療所職員間の相
談、情報共有体制の強化や診療
所をまとめる役割として、過去
に事務長経験のある作手総合支
所長を事務長として配置すべ
きであると判断した。

2 作手診療所の運営を立て直すた
めの必要な準備は、診療所の職
員体制を整えることである。診
療所職員間の相談や情報共有体
制を強化するため、診療所をま
とめる役割を担う事務長を作手
総合支所に配置したので、今後
は新たな正規看護師を確保する
ことにより、従前の体制に近づ
き、国民健康保険直営診療所と
しての役割を果たしていけるも
のと考える。

3 事務分掌は所属ごとに定められ
ており、事務の内容に変更が生
じるものではない。

そのほかの質問項目

- 新城南部企業団地産業廃棄物中
間処理施設について
- 太陽光発電設備について

健康福祉部長

1 診療所の医療体制を一刻も早く
立て直すことにより、安全な医
療を提供し、患者に安心して来
てもらえる診療所とするため

作手診療所幹部職員の交代につ
いて伺う。

1 運営立て直しのための人事異動
が必要とした判断理由は。

2 必要な準備と従前の体制に戻れ
る時期は。

3 幹部職員は作手総合支所長（副
部長級）が兼務となっているが、
事務分掌との関わりの整理は異
動発令時に完結しているのか。



竹下修平
議員

動画でチェック▶



Q. 市内小中学校における今年度の熱中
症対策の取組状況は。

A. 暑さ指数を測定し、危険領域付近
は、活動を中止する。

危険領域である31℃以上となった
場合やなりそうな場合には、活
動を中止する。それらを踏まえ、
7月18日に本市で最高気温が
37.5℃を記録したときには、
朝の始業時に、市教育委員会か
ら各学校に、一切の運動禁止と
エアコンのない部屋での活動禁
止を連絡した。

2 中学校の部活動で、夏季の大会
の開催時期を早めるとともに、
従来の2日間を3日間開催と
し、1日あたりの競技時間の短
縮を図り、午前中に全競技を終
了し、帰宅できるようにした。

また、学校生活全般においても、
熱中症対策を徹底し、子ども
の命を守ることに徹するよう、各
学校に注意喚起をしている。

3 特に小学校低学年の熱中症対策
は、丁寧な児童観察と水分補給
をこまめに行うことを重要視し
ている。

そのほかの質問項目

- 国道151号バイパスについて

教育長


1 国の熱中症警戒アラートや県の
ガイドラインに沿って取り組ん
でいる。具体的には、各学校に
おいて、暑さ指数を測定し、危

小中学校における熱中症対策に
ついて伺う。


1 市内小中学校における今年度の
熱中症対策の取組状況は。

2 昨年度と比較し、今年度から新
たに取り組んだ熱中症対策は。

3 小学生と中学生のように年齢差
があることによって、熱中症対
策の違いや差が生じている事例
はあるか。



鈴木達雄
議員
動画でチェック▶



Q. 東三河ごみ焼却施設広域化計画の概要は。

A. 東三河ブロックのごみ処理広域化を推進するため、ごみ処理の集約化を図る。

東三河ごみ焼却施設広域化計画について伺う。

① 計画の概要、特に本市に係る広域化実施計画の進捗状況及び課題は。

② 新城・北設地区の集約化に必要な焼却施設の用地決定までの手順、タイムスケジュールは。

市民協働部副部長


① 計画の概要は、愛知県が策定した広域化・集約化計画に基づき、東三河ブロックのごみ処理広域化をより具体的に推進するため、令和14年度以降早期に、豊川市と蒲郡市、新城市と北設

地区のごみ処理の集約化を図る。進捗状況は、広域化に向けての方向性などを定めるために令和5年8月に基本構想策定業務委託契約を行った。課題は、現在の処理施設は、地元行政区との覚書により、稼働が令和13年度までで、事業スケジュールの調整と建設候補地の選定である。


② 手順は、建設地に適さないエリアを除外し、一次選定で周辺環境や各町村及び関連施設との位置関係、道路事情等を勘案し北設地区も含め10カ所程度選定する。2次選定でさらに詳細な地理条件や地質条件等を考慮し、3カ所程度に絞り込み、最終的に総合評価で比較評価を行い、候補地を決定する。タイムスケジュールは、一次選定から総合評価までを令和5年度から令和6年度にかけて行い、令和7年度の早い段階で建設候補地を決定したい。

そのほかの質問項目

- ごみの処理について
- 豪雨災害への対応について



カーランド陽子
議員
動画でチェック▶



Q. 風力発電建設反対の声が上がり始めているが、市の認識は。

A. 事業に対して反対されている市民がいることは把握している。

(仮称) 新城・設楽風力発電事業について伺う。

① どのようなデメリットが考えられるか。

② 説明会の開催を本市から事業者に要求してほしい旨の請願が全会一致で採択されたが、その後の対応と現在の進捗は。

③ 6月定例会で、地域貢献等で地元から事業者への要望を交わしたとの答弁があったが、要望の内容は。

④ 作手地区を中心に、事業者の対応や事業に疑問を持った地域住民から建設反対の声が上がり始めているが、市の認識は。

⑤ 6月定例会で、風力発電は本市における活用可能な再生可能エネルギーであるとの答弁があったが、(仮称) 新城・設楽風力発電事業に関しても同様の考えか。

市民協働部副部長

① 超低周波を含む騒音、風車の影などによる近隣住民への影響、土地の改変に伴う自然環境への影響、動植物への影響、生態系、景観への影響などが考えられる。

② 事業者に請願内容をお伝えし、事業者からは新城、鳳来、作手の各地区において、年度内に説明会を開催することで調整していると聞いている。

③ 例えはの話であり、地元と事業者が要望を交わした事実は確認していない。

④ 事業に対して反対されている市民がいることは把握している。

⑤ 活用可能な再生可能エネルギーの1つだと考える。

そのほかの質問項目

- 学校給食について
- LGBT理解増進法に係る市の認識と対応について



今泉吉孝
議員

動画でチェック▶



Q. 独居高齢者の方々の訪問で民生委員以外のその他の施策をとっているのか。

A. 3件の事業を実施している。

- 本市における高齢者の独居の方々の訪問の対応について伺う。
- 1 男女別の人数は。
 - 2 過去5年間の孤独死の人数は。
 - 3 民生委員も訪問されているが、本市ではその他の施策をとっているのか。

健康福祉部長

1 65才以上の独居人数は、令和5年4月1日現在、男性1051人、女性1697人、合計2748人。

2 市として全体の孤独死の人数は把握していない。過去に関係機関などから連絡等があった件数

が、過去5年間で14名と把握している。

3 1件目は、配食サービス事業、配食サービス空白地域解消事業で、両事業とも在宅の独居の高齢者などの世帯に、配食サービスをを行うことにより、食生活の改善、健康保持を図るとともに、配食の際に安否確認を行っている。2件目は、高齢者安心生活サポート事業で、ボランティア団体等が独居の高齢者や寝たきり高齢者がいる家庭を毎月訪問し、安否確認、日常生活の相談を行っている。3件目は、包括的支援事業で、中学校区ごとに設置している高齢者ふれあい相談センターの職員が、独居の高齢者世帯へ訪問し、実態把握、福祉サービスの代行等を行っている。

そのほかの質問項目

- 本市における市民病院の入院時の入浴における対応について
- 本市における住民や企業の経済状況について
- 野田城の整備について
- 本市の観光について



村田康助
議員

動画でチェック▶



Q. 農山漁村振興交付金における本市の取り組みは。

A. NPO法人から認定申請が提出され、事業実施計画を認定した。

農山漁村地域の農泊について伺う。

- 1 農山漁村振興交付金と農泊推進実行計画における本市の取り組みは。
- 2 国では、令和4年度までに、農泊地域は621カ所に拡大されているが、本市の目標、計画は。

産業振興部長

1 平成29年度にNPO法人奥三河田舎暮らし隊から認定申請が提出され、内容を確認の上、事業実施計画を認定した。この実施計画に基づき設立された奥三河田舎暮らし推進協議会に産業振

興部も支援会員になり、研修会や広報活動の支援を行っている。

2 第3次新城市農業基本計画に具体的な計画や数値目標等を掲げてはいないが、各種取組の支援をしていくこととなる。

太陽光発電設備の設置条例の目的と地域に及ぼす影響について伺う。

市民協働部副部長

目的は、太陽光発電設備が適切に管理されていないこと等を未然に防ぐため、条例により太陽光発電事業者に事前協議や住民説明会、事業計画などの届出を義務付けた。条例が地域に及ぼす影響は、今後も太陽光発電設備が増えていくことが予想され、連絡が取れない太陽光発電設備事業者がなくなることによって、住民の不安を取り除くことができるものだと考える。

そのほかの質問項目

- 改正国土強靱化基本法について



山田辰也
議員

動画でチェック▶



Q. 市民病院について、移転新築の方向で進めていくのか。

A. 聴取した意見を含め総合的に判断し、方針決定を行う。

1 新城市民病院について伺う。

書について、今後の在り方については移転新築が最善との報告がされているが、その方向で進めていくのか。

2 今後、移転新築の方向で進めていくのであれば、課題やスケジュールはどのように考えているのか。

経営管理部長

1 8月16日から9月15日までパブリックコメントを実施している。また、医療関係団体や市民病院で働く医師からも意見聴取している。それらを総合的に判

断し、市として整備手法の方針決定を行うことになる。

2 課題は、移転先となる土地の取得、近隣住民の理解、来院者の交通手段の確保、現病院の跡地活用などが挙げられる。スケジュールは、一般的な公共施設の建設事業と同じく、基本構想、基本計画を策定し、その後建設工事に入ることになる。基本構想の策定後、新病院の概ねの規模、事業費、財源計画などが判明した段階で事業実施の可否を判断する必要があると考える。また、基本計画以降の実施時期は、移転先となる土地の取得見込または取得時期によって決まる。

そのほかの質問項目

- 旧新城東高等学校の跡地利用について
- 鳳来総合支所について
- 史跡等のある地域の景観と再生可能エネルギーの条例と市の管理について



浅尾洋平
議員

動画でチェック▶



Q. 作手診療所の薬の院内処方再開させる意志があるのか。

A. 職員体制が整った段階で、再開できるよう調整していきたい。

作手診療所の公用車車検切れ問題と職場環境悪化による看護師全

4 名病欠問題について伺う。

1 公用車の車検管理の責任者は誰になり、その者の処分はあったのか。

2 薬の院内処方を再開させる意志があるか。

3 市民の要望や声は。

4 職場環境は。

健康福祉部長

1 公用車の車検管理の責任者は、医療技術長で、指導上の措置により嚴重注意を受けている。

2 職員体制が整った段階で、再開

できるだけ調整していきたい。

3 診療所の現状に対する市民からの声は、院内処方の再開時期、診療所の存続を心配される声ももらい、その都度、事情を説明している。また、8月8日の作手地区民生委員児童委員協議会、9月11日の作手地区区長会で、現状を説明した。

4 職場環境の悪化は、職員間のコミュニケーションや情報共有が少なかったことにより、職員間の業務への理解不足が原因と考えられる。このため、診療所職員間の相談や情報共有体制を強化するため、事務長を作手総合支所に配置した。

そのほかの質問項目

- 長篠・設楽原の決戦地での太陽光発電設備の設置について
- 小中学校の特別教室と体育館へエアコン設置と学校図書館について
- 新城南部企業団地産業廃棄物中間処理施設の悪臭・ハエ対策について



滝川健司
議員

動画でチェック▶



Q. 新城市DX推進計画に基づいた事業の進捗状況は。

A. 21手続で、8月1日からオンライン申請の受け付けを開始した。

昨年10月に策定された新城市デジタルトランスフォーメーション(DX)推進計画に基づき事業を進めているが、進捗、課題と生成AIなど対話型人工知能の活用可能性と活用方法について伺う。

企画部長

進捗状況は、子ども子育て、介護、被災者支援関係の21手続について、8月1日からオンライン申請の受け付けを開始した。また、ICT技術による業務効率化は、昨年度11月よりRPAを2ライセンス導入し、一部業務で活用を開始している。その他、取組事項によって進捗状況はさ

ままだが、計画最終年度(令和8年度)の各取り組みの目標を意識しながら、着実に取り組んでいきたい。課題は、DXの取り組みに対する職員と市民の意識、ICTに関する知識や理解、財源が挙げられる。これらに対しては、DX推進計画で定めたい守るべき指針の徹底や情報教育の充実、デジタル技術に不慣れな方に対する対策などを通じて意識改革を進めていくとともに、交付金等活用できるものを最大限活用しながら進めていきたい。

生成AIなど対話型人工知能の活用可能性と活用方法は、既に業務への活用が開始された自治体もあり、業務効率化の有効性も示されていることから、リスク管理を行いながら本市での導入可能性を検討していきたい。先進事例では、文章の作文・校正・要約、各種アイデア出し、エクセルの関数作成などである。

そのほかの質問項目

- 新城ラリーの総括について
- 異次元の少子化対策について
- LGBT・SOGI理解増進法について



丸山隆弘
議員

動画でチェック▶



Q. エンディングノートの配布状況は。

A. 希望者に本庁高齢者支援課等の窓口で配布をしている。

高齢者等の終活支援について伺う。

1 終活支援の重要性の認識は。
2 本市のエンディングノート配布状況及び市民からの相談状況は。

3 今後の取組として、エンディングノートや終活に関する情報を事前登録する制度の検討は。
4 民生委員との情報連携は。

健康福祉部長

1 本市は、高齢化率が38%を超え、高齢者の単独世帯が増加傾向にある中で、終活支援は、重要な課題であると認識している。

2 希望者に高齢者支援課等の窓口で配布をしている。また、健康教育等の参加者や高齢者支援に携わる関係者にも配布している。市民からの相談は、社会福祉協議会等で受ける様々な相談の中で、終活に関することも聞いている。

3 岐阜市や先進自治体の状況を参考にしつつ、本市での取り組みについて議論を深めていくが、個人情報を取り扱い、登録情報を開示する事業となるので、関係機関と現状把握や情報交換を重ねながら、慎重に検討していきたい。

4 日々の地域住民に対する訪問活動を通じて、気になる高齢者世帯等があれば、情報提供をもらっている。今後もつなぎ役をお願いし、地域包括支援センター等を交えながら、更なる連携に努めていきたい。

そのほかの質問項目

- 鳳来総合支所・市民センターの施工不良の対応について
- 雑草等の除去に関する条例化の検討について
- 長篠城跡保存活用計画について



中西宏彰
議員

動画でチェック▶



Q. 今後の通学路の安全確保に対する対応は。

A. 通学路交通安全プログラムに基づく対策を行っている。

通学路の安全確保について伺う。

- ① 通学路の安全確保をどのように認識しているのか。
- ② これまで、通学路の整備・雑草等の除去等の要望は市民等から出されたことはないか。
- ③ 今後の通学路の安全確保に対する対応は。

建設部長

① 本市では、平成27年度に通学路交通安全プログラムを策定している。その中に、通学路の安全確保に関する取り組みの方針を定めており、関係機関が連携し

て児童・生徒が安全に安心して通学できるよう、通学路の安全確保を図っていくことが重要だと考える。

② 学校からの要望や区長、市民からの要望について毎年、数多くもらっている。

③ 通学路交通安全プログラムに基づく対策の実施を重点に対応を行っているが、その他の要望に対しても早期に対応が実施できるように努めているところ。なお、点検結果や対策内容はホームページで公表している。

そのほかの質問項目

- 屋内運動場の暑さ・熱中症対策について
- 人口減少・移住定住促進について



齊藤竜也
議員

動画でチェック▶

Q. 生涯を通じた健康づくりの実施内容は。

A. 各ライフステージにあった施策を推進している。

しんしろ健康づくり21計画（第2次）の基本目標達成のための実施内容と評価について伺う。

- ① 生涯を通じた健康づくりは。
- ② 疾病の発症予防及び重症化予防は。
- ③ 生活習慣の見直しは。

健康福祉部長

① 各ライフステージにあった施策を推進している。乳幼児期は、妊娠届け出時の面接、乳幼児健診などの機会を通して健康づくりを推進している。学齢期は、規則正しい生活が確立できるよう、小中学校と連携し、健康教

育を行っている。成人期は健康診査等に加え、こころの健康づくりのための講演会を開催している。高齢期は、健康診査や保健指導により重症化を防ぐことで介護の予防に努めている。

② 1つ目は、がん検診の受診率向上を目指し、大腸がん検診を医療機関の健康診査と同時実施ができるようにしたこと、受診率が向上した。2つ目は、循環器疾患・糖尿病の発症予防及び重症化予防として、令和3・4年度で国の重症化予防プログラムに参加した。また、保健指導

による教室へ多くの方に参加してもらっている。特に、糖尿病は国民健康保険の被保険者一人当たりの医療費が県下でも高く、指導等を行っているが、依然高い傾向にある。

③ 6つの項目に分け、目標値を定め、生活習慣病予防の健康教育、健康相談、健康づくり事業などに取り組んでいる。

そのほかの質問項目

- 行政サービスのデジタルトランスフォーメーションの推進について



柴田賢治郎
議員



動画でチェック▶

Q. 農家の高齢化に対する施策は。

A. 新規就農者の確保・育成に取り組んでいる。

- 1 本市の農業政策について何う。
- 1 農家の高齢化に対する施策は。
- 2 本市の農地の在り方、集積があるのか。
- 3 農家への助成、育成は。

産業振興部長

- 1 施設園芸でのトマト等の奨励作物で、新規就農者の確保・育成に取り組んでいる。今後は担い手への集積を図り、スマート農業などの省力化を推進することで農地を守りたい。

- 2 将来的に守っていくことが可能な農地かを選別し、その中で担い手に集積していく農地、地主

や地元で維持管理していく農地など、計画的な利用を考える必要がある。また、本市の農地面積の多くを占める水田農業の後継者不足が課題であり、担い手が営農を継続していくためには、農地の集積による効率的な農業経営が必要である。今後は地域と担い手の意向を集約し、効果の高い農地の集積に繋げていきたい。

3 助成・育成の主なもの、農業用機械の導入経費に対する補助や担い手、経営体の育成として、農業者団体の活動費助成や農業制度資金等の各種支援に取り組んでいる。育成は、施設園芸の新規就農者の確保・育成やしんしろ農業塾を開催し、毎年10名程度を産直での販売農家として育成することに取り組んでいる。

そのほかの質問項目

- 本市の土地利用のゾーニング、景観条例について
- 新城ラリーの総括と今後について

9月定例会

議案とは、議会の議決を経て、市または議会の意思を決定するため、市長または議員もしくは委員会が、議会に提出する案件のことです。

決まりました!!

主な議案の内容

市議会9月定例会は9月4日から9月22日までの19日間の会期で開かれました。

この定例会では、条例の一部改正や補正予算など、市長提出議案70件や請願1件などが上程され慎重審議を行いました。

令和5年度新城市一般会計補正予算(第6号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ566万円を増額し、総額を271億370万9千円とします。

主な内容は、
 公共バス運行事業
 など必要な予算を計上します。

令和5年度新城市一般会計補正予算(第7号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ15億4603万3千円を増額し、総額を286億4974万2千円とします。

主な内容は、
 ・物価高騰対策費交付事業
 ・消防一般事務経費
 ・学校給食施設改築事業
 など必要な予算を計上します。

新城市公平委員会委員の選任

伊藤 隆穂 氏(豊橋市)
 任期満了に伴い選任します。

新城市農業委員会委員の任命

任期満了に伴い、12名を任命します。

新城市教育委員会委員の任命

青山 芳子 氏(新城地区)
 任期満了に伴い任命します。

財産区管理委員の選任

任期満了に伴い、海老財産区管理委員7名を選任します。

主な議案の討論 9月定例会

●第131号議案

令和5年度新城市一般会計補正予算(第7号)

(賛成多数により可決)

山田 辰也 議員

反対

給食センター関連予算は、どこまで追加されるか不安であると考え、反対する。

浅尾 洋平 議員

反対

高速バス、学校給食センターは無駄遣いの予算だと考え、反対する。

佐宗 龍俊 議員

賛成

早期に取り組みを行うための補正予算は必要と考え、賛成する。

●第136号議案

令和4年度新城市一般会計決算認定

(賛成多数により認定)

山田 辰也 議員

反対

今回の決算認定は、いろいろな課題があったにもかかわらず進んできたと考え、反対する。

浅尾 洋平 議員

反対

総事業費は、子育て支援、医療福祉等の充実に充てていくよう強く要望したいと考え、反対する。

齊藤 竜也 議員

賛成

予算執行が正しく行われたかどうかチェックしたところ、しっかりと執行していたと考え、賛成する。

●第139号議案

令和4年度新城市国民健康保険診療所特別会計決算認定

(賛成多数により認定)

浅尾 洋平 議員

反対

働きにくい環境である状況で賛成はできないと考え、反対する。

鈴木 長良 議員

賛成

総合的な視点から、令和4年度の予算執行は適正であったと考え、賛成する。

●請願2号

予算案の元となった要望書の取り扱いに関する請願

(賛成少数により不採択)

佐宗 龍俊 議員

不採択

要望書は、既に陳情書と同じ取り扱いをしており、趣旨が間違っていると考え、不採択とする。

浅尾 洋平 議員

趣旨採択

内容や趣旨を精査し、規則や条例等に、補充をしていくことが必要と考え、趣旨採択とする。

山田 辰也 議員

採択

市をよくしたいというところから、この請願を提出されているので、採択とする。

議案賛否

議案番号	議案名	議決結果	表決		議 員 名																	
			賛成	反対	カークランド陽子	今泉吉孝	小林秀徳	竹下修平	齊藤竜也	佐宗龍俊	鈴木長良	浅尾洋平	柴田賢治郎	小野田直美	山田辰也	村田康助	山口洋一	長田共永	鈴木達雄	滝川健司	中西宏彰	丸山隆弘
131	令和5年度新城市一般会計補正予算(第7号)	原案可決	13	4	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	×
136	令和4年度新城市一般会計決算認定	認定	13	4	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×
139	令和4年度新城市国民健康保険診療所特別会計決算認定	認定	13	4	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×
請願2	予算案の元となった要望書の取り扱いに関する請願	不採択	趣旨採択 4	採択 3	採択	採択						趣旨採択	趣旨採択		採択		趣旨採択					趣旨採択

※○は賛成、×は反対、賛否については各議員からの報告をもとに公表します。

9月定例会

議 決 結 果 一 覧

議案番号	議案名	議決年月日	審議結果
報告7	専決処分事項の報告 (和解及び損害賠償の額の決定)	5・9・4	報告
報告8	令和4年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告	〃	〃
報告9	新城市土地開発基金の運用状況	〃	〃
報告10	公益財団法人農林業公社しんしろの経営状況	〃	〃
報告11	有限会社ついで手作り村の経営状況	〃	〃
報告12	新城市土地開発公社の経営状況	〃	〃
報告13	令和4年度新城市一般会計予算の継続費に係る精算報告書	〃	〃
125	令和5年度新城市一般会計補正予算(第5号)の専決処分の承認	〃	承認
126	新城市交通安全施策推進基金の設置及び管理に関する条例の制定	5・9・22	原案可決
127	新城市災害派遣手当等に関する条例の一部改正	〃	〃
128	新城市火災予防条例の一部改正	〃	〃
129	新城市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	〃	〃
130	令和5年度新城市一般会計補正予算(第6号)	5・9・4	〃
131	令和5年度新城市一般会計補正予算(第7号)	5・9・22	〃
132	令和5年度新城市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	〃	〃
133	令和5年度新城市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	〃	〃
134	令和5年度新城市宅地造成事業特別会計補正予算(第1号)	〃	〃
135	令和5年度新城市海老財産区特別会計補正予算(第1号)	〃	〃
136	令和4年度新城市一般会計決算認定	〃	認定
137	令和4年度新城市国民健康保険事業特別会計決算認定	〃	〃
138	令和4年度新城市後期高齢者医療特別会計決算認定	〃	〃
139	令和4年度新城市国民健康保険診療所特別会計決算認定	〃	〃
140	令和4年度新城市宅地造成事業特別会計決算認定	〃	〃
141	令和4年度新城市千郷財産区特別会計決算認定	〃	〃
142	令和4年度新城市東郷財産区特別会計決算認定	〃	〃
143	令和4年度新城市吉川組財産区特別会計決算認定	〃	〃

議案番号	議案名	議決年月日	審議結果
144	令和4年度新城市小畑財産区特別会計決算認定	5・9・22	認定
145	令和4年度新城市中宇利財産区特別会計決算認定	〃	〃
146	令和4年度新城市富岡財産区特別会計決算認定	〃	〃
147	令和4年度新城市黒田財産区特別会計決算認定	〃	〃
148	令和4年度新城市庭野財産区特別会計決算認定	〃	〃
149	令和4年度新城市一畝田財産区特別会計決算認定	〃	〃
150	令和4年度新城市八名井財産区特別会計決算認定	〃	〃
151	令和4年度新城市大野財産区特別会計決算認定	〃	〃
152	令和4年度新城市川合池場財産区特別会計決算認定	〃	〃
153	令和4年度新城市海老財産区特別会計決算認定	〃	〃
154	令和4年度新城市山吉田財産区特別会計決算認定	〃	〃
155	令和4年度新城市作手財産区特別会計決算認定	〃	〃
156	令和4年度新城市病院事業会計決算認定	〃	〃
157	令和4年度新城市水道事業会計決算認定	〃	〃
158	令和4年度新城市工業用水道事業会計決算認定	〃	〃
159	令和4年度新城市下水道事業会計決算認定	〃	〃
160	工事請負契約の締結	〃	原案可決
161	新城市公平委員会委員の選任	〃	同意
162~173	新城市農業委員会委員の任命	〃	〃
174~176	新城市固定資産評価審査委員会委員の選任	〃	〃
177	新城市教育委員会委員の任命	〃	〃
178~184	新城市海老財産区財産区管理委員の選任	〃	〃
185	新城北設楽交通災害共済組合の解散	〃	原案可決
186	新城北設楽交通災害共済組合の解散に伴う財産の処分	〃	〃
187	新城北設楽交通災害共済組合規約の変更	〃	〃
請願2	予算案の元となった要望書の取り扱いに関する請願	〃	不採択

土木研修

9月26日、新城市管内土木事業について研修を行いました。今回の研修では6月2日の豪雨被害とその復旧状況を中心に、愛知県の新城設楽建設事務所及び新城設楽農林水産事務所より説明を受けました。阿寺地区内で起きた大規模土砂災害をはじめ各地の小中規模の災害を改めて確認しました。市民生活に影響を与えるインフラの再整備に向けた取り組みなどの状況を理解するとともに、各議員が市民より受ける相談案件も含め丁寧に説明いただきました。また保安林制度を活用した森の守り方や様々な県事業による今後の山の維持方法も含め、学びの深い時間となりました。毎年繰り返される異常気象、少子高齢化による山の保全の苦慮など、その場ですぐに解決が難しい案件が多いほど、早め早めに、かつ、計画的に進めていくことが重要である点を議会として認識し、今後に生かしてまいります。

(齊藤竜也)



市民まちづくり集会

9月23日に、新城文化会館にて市民まちづくり集会在開催されました。本年は「こども園から考えよう、新城の子どもの未来」というテーマで、市民と市職員や議員などあわせて120人の方々が、15のグループに分かれ一緒に話し合いました。本年度は、中西宏彰、鈴木長良、今泉吉孝の3名の議員が実行委員会のアドバイザー

として企画段階から加わり、当日は15名の議員が参加しました。今まで議会では様々な市民の声を市長に届けてきましたが、今回議会からは、本年度、市に提出した政策要望の中から、子育ての安心・安全に関するものとして『子ども給食の安全確保』『18歳までの医療費の無料化』『母子健康事業の推進』『子どもたちの安全な居場所づくり』『子育て支援の充実』『子どもやひとり親家庭への学習支援・生活支援』『子育て世



代の住みやすい環境の整備』の7つの視点で報告しました。グループワークでは「子どもたちに先生たちの目が行き届いている」「先生の仕事が多いのではないか」「自然の中で伸び伸びと成長できる」「給食がおいしい」「新城を楽しいまちにすれば人口も増える」など、こども園から新城の未来に至るまでの幅広い意見が出て、意見交換や情報共有を図る場として有意義な話し合いを行うことができました。子どもたちは、今後の新城市の未来を担う宝であります。子どもたちが自分らしく成長でき、幸せに暮らせるように、社会全体で支え合っている新城市になるよう、議会も検討を重ねて参ります。今回の市民まちづくり集会では、市民、行政、議員による活発な議論がなされ、子どもたちの未来への光となったと確信しています。

(今泉吉孝)

委員会インフォメーション

i n f o r m a t i o n

委員会とは、議会の内部組織として、本会議における審議の予備的審査調査機関として設置される審査機関の事です。

総務消防委員会

1 防災対策を進めます

これまでの小災害を含む危険箇所をマップに落とす積み重ねにより、防災対策を図られたい。

災害後の各地域からの報告マニュアルを作成、周知されたい。

小中学校において危機管理の在り方の見直しや検証を図り、事件・事故・災害の未然防止とともに事故発生時の適切な対応が行われるよう、事故対応に関する教職員の共通理解を図られたい。

2 消防体制を充実します

新城市消防団総合計画で示された各種取組を年度計画に落とし込んで公表し、具体的かつ計画的に順次進められたい。

3 公共施設の適正配置と効率的な管理を進めます

旧鳳来総合支所及び周辺公共施設の跡地活用を早急に図られたい。

4 市民ニーズに即応できる組織づくりを行います

K A E L 運動を推進し、職員が気軽に、適切に提案できる仕組みを構築されたい。公平公正な市政運営を確保するため、公正な職務の遂行の妨げとなる不当要求行為等に対して、その防止のためのルールを定め

られたい。市民のための市政運営を確保するため、職員は市民に対する言動に留意し、公正な職務の遂行を図られたい。

厚生文教委員会

1 子どもを産み育てる環境を整えます

子どもの給食の安全確保で、遺伝子組換えやゲノム編集作物、また食品添加物が使用されている加工品の使用は避けられたい。

通院医療費無料化における対象年齢を18歳まで拡大することを検討されたい。

経済的な理由により、高等教育機関への就学が困難と認められる学生及び生徒に対して、利子給付・給付型・奨学金制度などの教育費の負担軽減策を図られたい。

潜在化するヤングケアラー支援に向け、社会的認知度向上に務められたい。

2 生涯を通じた健康づくりを応援します

女性の検診（子宮頸がん検診など）を市外の婦人科クリニックや病院でも受けられるように図られたい。

各種検診の受診率向上のために、コール・リコール（受診勧奨・再勧奨）の導入を検討されたい。

3 地域に寄り添う公共交通網をつくらせます

高速乗合バス「山の湊号」の本来の目的であった、人口流出の抑制や交流人口の増加に対し、どのような影響があったのか、人口減少対策・

観光面での経済効果・まちのにぎわいの創出に対する検証・評価を実施し、今後の運行を考えられたい。

もつくる新城南駐車場の利用にあたり、市外県外利用車の長期間駐車車両がある。駐車場整備と管理を早急に図られたい。

4 病院・診療所の体制を整えます

医師の確保を一層図られたい。
市民病院あり方検討会を踏まえ、市民の理解を得ながら今後の市民病院の再整備に向けた方向性を示されたい。

作手診療所の医療充実を図られたい。

5 地球環境の保全に貢献します

産業廃棄物処理施設における臭気センサーを活用した常時臭気監視（24時間）システムを導入されたい。

新城市風力発電施設等の建設等に関するガイドラインにおける建設の基準において、国内外の事例を調査し、実情にあった内容に見直されたい。

6 持続可能な自立循環のまちをつくらせます

クリーンセンター計画新クリーンセンター建設については、早急に計画を策定され進めることを図られたい。

経済建設委員会

1 居心地の良い暮らしをつくらせます

通学路交通安全プログラムに沿った事業実施を更にとともに、道路沿線の雑草、支障木、法面崩落等の実地調査と解消を図られたい。

2 安全できれいな水循環を守ります

水循環を守り、市民負担を最小限にできるような経営努力と、広域化を含めた水道事業の最適化の検討を早急にすすめられたい。

3 歴史・文化自然の紹介・活用を進めます

市内観光地での公衆トイレ・駐車場の早期整備・充実を図り、利便性の高い観光地とすることで観光客の増員を推進されたい。

4 防災対策を進めます

豪雨による河川氾濫を予防するため、河川や橋梁の改修の基準等を見直し、計画的に浚渫や河道改修を進められたい。

5 活気がある市街地をつくらせます

市街地の利便性と住環境の向上による経済力強化と定住対策を図るために、市街化調整区域をはじめ都市計画区域区分（線引き）の見直しを含めた、住宅用地供給の促進を図られたい。そのために、議会合同プロジェクトチームによる研究を継続されたい。

6 持続可能な農業構造を実現します

国が進める中山間地農業ルネッサンス事業に応じ、中山間地域の特性を活かした農業振興策の展開として以下を図られたい。

7 企業誘致を進め、雇用を確保します

スマートインターチェンジ周辺振興のための市内プロジェクトチームの活動を加速させ、新城にとってメリットのある具体的な方向性を示されたい。

交通安全啓発運動

新城市議会では、毎年秋の全国交通安全運動に合わせ、交通安全啓発運動を実施しています。今年も9月25日（月）、午前7時30分から議員と議会事務局職員及び新城市警察署交通課から課長以下2名の沿道で、プラカードを掲げて交通安全啓発運動を実施しました。出発式では交通課長から「愛知県の交通事故死者数は、現在102名で、その内の1名が新城市。大阪府に次ぐ全国ワースト2です。大阪府に次ぐ全国ワースト2です。朝の時間帯の死亡事故が多いので、今からの啓発運動は効果的だと思います。」との説明をいただきました。通勤・通学時間帯で、自動車も歩行者も多く、少しでも事故が減るよう、市民の皆さまの意識向上につながれば幸いです。



中学生職場体験受入

7月31日（月）、8月1日（火）に八名中学校2年生の遠山禮士（とおやまあやと）さんに議員活動や議会事務局の仕事を経験してもらいました。議員活動では、浅尾議員と一緒に、政策や事業の進捗のことを執行部に話を聞きに行きました。他にも、委員会の書記、議事録の作成、栃木市議会の行政視察を受け入れする際に司会進行を体験してもらいました。



12月定例会日程（予定）

12月7日	本会議第1日 議案の審議
12日	本会議第2日 一般質問 ※中継 12ch
13日	本会議第3日 一般質問 ※中継 12ch
14日	本会議第4日 一般質問（予備日）※中継 12ch 議案の審議
15日	総務消防委員会 厚生文教委員会
18日	経済建設委員会 予算・決算委員会
21日	本会議第5日 議案の審議



編集後記

広報広聴委員会は、広報紙の編集発行と議会報告会の開催、活動のPRと市民意見の集約に心がけてきました。広報紙の表紙は、文化協会新写真クラブ及び新城市有教館高写真部のご協力により、紙面を引き立てていただきました。新型コロナウイルス感染症の影響を受けていた議会報告会は、今年は影響を受けずに開催することができました。議員任期後半2年間も、議会の活動状況に市民の皆さまが関心を持たれ、市民との意見交換が自由にできる体制に改善してまいります。
(丸山隆弘)

■広報広聴委員会

委員長／丸山隆弘
副委員長／鈴木達雄
委員 員／齊藤竜也
佐宗龍俊 鈴木長良
浅尾洋平 カークランド陽子
今泉吉孝 小林秀徳

●ご意見・ご感想など、議会事務局へご連絡ください。

【電話】0536-12317657

【メール】gikai@city.shinshiro.lg.jp

【WEB】

